三木市中小企業振興審議会答申概要　今後の三木市中小企業の振興策について

別紙1

現状

- 少子高齢化 人口減少
- 国内市場の縮小、経済のグローバル
- 市内総生産の伸び悩み
- 99%以上が中小企業
- 事業所数・従業者数は減少
- 地場産業の三木金物出荷額は低迷
- 後継者不足
- 商店街の衰退
- 三木城跡国史跡・NHK大河ドラマ放映
- 優れた特産品の存在

課題

- 三木の持つ技術、人材を結集し、経営力、競争力を強化することで、新しい三木製品を国内外に展開する必要がある。
- あらゆる地域資源を連携活用した新たな産業を育成し、市内経済の活性化を図るとともに、若者の定住促進のため雇用の場を確保する必要がある。
- 少子高齢化等新たな社会構造に対応した、商業機能やサービス機能を充実し、交流人口を増加させることで活性化を図る必要がある。

基本的方向

- ものづくりイノベーションの推進
- 活力ある新たな産業の創出
- まちのにぎわいの再生

戦略 / 施策の方向性 / 具体的施策

戦略	施策の方向性	具体的施策
企業の挑戦や成長を支える支援体制の充実を図る。	①企業の経営革新計画策定の促進、技術評価制度による企業信用力の強化支援 ②企業の集約化による経営効率化、経営基盤強化を支援	①中小企業サポートセンター事業 ②中小企業経営力強化事業
時代や社会のニーズを捉え、「新分野を開拓」「経営改革を促進」し、三木の企業の強みを強力に情報発信することで、「ものづくり都市三木」をブランド化する。	①革新的企業を集中的に支援 ・既存企業の経営革新 ・成長産業分野等（特に医療・介護、環境・エネルギー、観光）への進出 ②一般消費者向けの新たな製品開発への取組み強化 ③海外への情報発信、海外市場の開拓	①新規事業展開支援事業 ②経営革新支援事業 ③起業支援事業 ④設備投資促進事業 ⑥三木ブランド拡大アンテナショップ事業 ⑦海外販売促進支援事業 ⑧インターネット販売促進事業
三木の産業を支える人材確保と人財育成を図る。	①更なる企業誘致を進め、雇用の場の拡大 ②話題性のある製品づくりで三木の技能をアピール、魅力ある企業づくりで人材確保 ③三木のものづくり技能の継承と企業間技術交流の促進による、ものづくり人財の育成	①経営革新支援事業（再掲） ②起業支援事業（再掲） ③市民の雇用促進事業 ④企業誘致推進事業 ⑤ものづくり集積促進奨励金制度
地域内企業、異業種、産学などとの多様な連携を促進し、三木の産業力を強化する。	①業種を超えた市内企業連携や大学、大企業との技術マッチングによる新製品開発を促進 ②農商工連携による新製品開発を促進 ③市内企業が連携して情報発信・情報収集やマーケティング力を強化し企業の販売力を促進	①経営革新支援事業（再掲） ②起業支援事業（再掲） ③技術移転促進支援事業 ④6次産業化等チャレンジ支援事業 ⑤地域資源活用ツーリズム開発事業
地域資源を活用した新たな産業の創出とにぎわいのあるまちを再生する。	①農業体験、鍛冶体験など産業の観光化や、産業と観光資源とを連携したツーリズムの開発を 推進 ②ハーブに次ぐ農業の6 次産業化を促進 ③商店街のコミュニティー空間を提供し、子育て世代、高齢者を中心に多世代の交流の場として、まちのにぎわいを再生	①6次産業化等チャレンジ支援事業（再掲） ②地域資源活用ツーリズム開発事業（再掲） ③まちなかマルシェ（市）事業 ④空き店舗活用支援事業 ⑤地域支援型農業（CSA）の推進 ⑥商店街共同設備整備促進事業 ⑦商店経営革新・業態転換支援事業 ⑧地域商店街活性化事業